※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	学医療看護系 国語	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	新版二訂　必携国語						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は予習が大切になります。与えられた課題は必ず仕上げて授業に臨むようにしなさい。また復習もしっかりとおこなって、学習内容の定着を図ること。
・語彙力を高めるために、意味がわからない言葉と出会ったときは、辞書を引いて調べることを心がけましょう。
・提出物の期限は守りましょう。
・小テストや定期考査は学習計画を立てて臨みましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2)論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字の書き取り・読みや、慣用句・ことわざについて学習する。 ［教材］ 漢字・語彙編	(a)言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 (b)[読]目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 (c)文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	問題演習 定期考査	問題演習 定期考査	問題演習
	課題作文の書き方を学習する。 ［教材］ 作文編	(a)文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。 (b)[読]主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 (c)他者の考えを参考にしながら実社会の状況や問題点を粘り強く考察し、説明しようとしている。	問題演習 課題作文	問題演習 課題作文	問題演習 課題作文
	文学史・現代用語・口語文法・敬語の使い方を学習する。 ［教材］ 一般常識編	(a)言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 (b)[読]目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 (c)課題資料が示す内容と身の回りの問題を積極的に関連付け、学習課題に沿って適切な解決策を考えようとしている。	問題演習 定期考査	問題演習 定期考査	問題演習

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間